

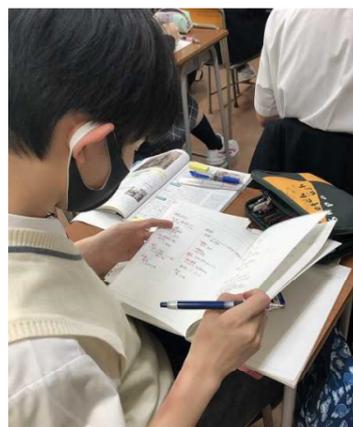
北海道羅臼高等学校 通信 No12

R3.6.2



2年必修「日本史A」の授業

- 1 科目名 日本史A (2年必修・2単位)
- 2 担当者 高石大全 (期限付教諭、生徒指導部、野球部・サッカー一部顧問、本校1年目)
- 3 本授業 単元：明治維新と近代国家の形成
江戸時代末期から明治時代にかけて、政治や産業、文化や生活スタイル等がどのように移り変わっていったか、理解し整理する。



↑ 歴史的出来事と関連する人物の繋がりを重点にテンポ良い授業をおこなっている。
 考査直前なので、重要ワード等の確認もあわせておこなわれていた。
 ← ノートはとても良く整理されており、重点項目は赤で強調されている。



《情報》
 教科を担当する高石先生は、2012年夏の甲子園大会に主将として出場しています！
 ジュニア時代には日本代表メンバーにも選出されているようです。

日本史A

学年・形態	2学年・必修	教科書	(清水書院) 高等学校日本史A 新訂版		
単位数	2単位	副教材	(山川出版社) 山川ビジュアル版 日本史図録		
科目の目標	わが国の近現代の歴史の展開を諸問題に基づき地理的条件や世界の歴史と関連づけ、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。				
学習内容	1 歴史上の出来事を原因と結果に注目しながら理解を深める。 2 日本が外国からどんな影響を受けて成り立っていくのかにも注目する。 3 「歴史の資料」などから歴史の真実を鵜読み解いていく。				
評価の方法	①参加態度 ②定期考査 ③課題 ④能力(関心意欲・思考判断表現・技能・知識理解) ①～④を合算したものを評価点とする。				
評価	観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	対象	・授業に対する姿勢 ・課題の提出 ・歴史的出来事のみとめ	・定期考査 ・課題の内容 ・歴史的出来事のみとめ、 考査、表現	・資料の読み取り ・結果のみとめ、考査	・定期考査 ・課題の内容
	S	日本の社会や文化がどのようにできたのか、興味を持ち、みずから考え理解している。また、これからの社会をよくするために、歴史から学んだ知恵を生かせる。	日本の社会の変容や歴史上の人物が果たした役割について疑問を持ち、そうした問題を様々な角度から筋道を立てて考え表現することができる。	歴史の資料から歴史の事実を読み取ることができる。また読み取ったことを他の人に分かりやすく伝えることができる。	日本史の各時代の特徴について、基本的な知識を身につけている。
	A	日本の社会や文化がどのようにできたのか、興味を持ち、みずから考え理解している。また、これからの社会をよくするために、歴史から学んだ知恵を生かそうという意欲を持っている。	日本の社会の変容や歴史上の人物が果たした役割について疑問を持ち、そうした問題を様々な角度から筋道を立てて考え表現しようとしている。	歴史の資料から歴史の事実を読み取ることができる。また読み取ったことを他の人に分かりやすく伝える努力をしている。	日本史の各時代の特徴について、基本的な知識を身につけている。
	B	日本の社会や文化がどのようにできたのか、興味を持ち、みずから考え理解しようとして努力している。また、歴史から学んだ知恵を生かそうという意欲を持っている。	日本の社会の変容や歴史上の人物が果たした役割について疑問を持ち、そうした問題を様々な角度から筋道を立てて考えることができる。	歴史の資料から歴史の事実を読み取ろうとしている。また読み取ったことを他の人に伝えようと努力している。	日本史の各時代の特徴について、基本的な知識を身につけている。
C	日本の社会や文化がどのようにできたのか、興味がなく、理解もしていない。また、歴史から学んだ知恵を生かそうという意欲も持っていない。	日本の社会の変容や歴史上の人物が果たした役割について疑問を持ち、そうした問題を様々な角度から筋道を立てて考えることができない。	歴史の資料から歴史の事実を読み取ることができない。また読み取ったことを他の人に伝えることができない。	日本史の各時代の特徴について、基本的な知識が身につけていない。	
成績不振要注意者の基準		評価点が30点未満の者			

	単元名	主な学習内容
前期	東アジアと日本の文明化 武家幕府の形成 幕藩国家の成立 国際環境の変化と幕藩体制の動揺 明治維新と近代国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・院政時代から戦国時代 ・近世の国家体制 ・18・19世紀の世界とアジア ・新しい学問と思想 ・幕藩体制の動揺と幕政 ・通商条約の締結と安政の大獄 ・文明開化と民衆
		<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代から平安時代 ・外国船の来航と海防策 ・社会の変化と農民の動向 ・ペリー来航と日米和親条約 ・近代国家の成立と国民の創出 ・国境の画定
後期	立憲政体の成立と国際的地位の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・自由民権運動と政党の結成 ・日清戦争と戦後の政治 ・満州経営と韓国併合 ・明治の文化 ・第一次世界大戦への参戦 ・ヴェルサイユ講和とワシントン体制 ・大戦景気と産業構造の変化 ・満州事変と国連脱退 ・第二次世界大戦の勃発と日本 ・日本占領下のアジア ・日本の敗戦 ・日本国憲法の制定 ・戦後の国際情勢と日本の独立 ・「55年体制」と安保闘争
	第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・立憲体制の確立 ・日露戦争 ・近代産業の発展 ・護憲運動と大正デモクラシー ・ロシア革命とシベリア出兵 ・政党政治の展開 ・大衆文化の成立 ・二・二六事件と日中戦争 ・アジア太平洋戦争の勃発
	第二次世界大戦と日本 戦後政治の動向と国際社会	<ul style="list-style-type: none"> ・占領下の政治と労働運動 ・冷戦と占領政策の転換 ・戦後の国民生活と文化 ・高度経済成長期の日本

